

令和4年8月27日

各中学校卓球部顧問(部長)様

松山卓球協会 中学部長 石山 将成
松山市中体連卓球専門部長 井上 律

令和4年度松山地区中学団体卓球対抗戦
(兼 愛媛県中学団体選抜卓球大会中予地区予選)
組合せ抽選の方法について

標記の件につきまして、以下のように行いたいと思いますので、お知りおきください。

1 松山卓球選手権と全日本卓球選手権大会松山地区予選、松山地区中学生選抜大会(男女とも二回開催予定)の、原則、中学2年生の部の結果を以下のようにポイント化し、選手の所属する学校に対してポイントを与える。

(1) 令和4年度松山卓球選手権大会(中学生の部)

- ・第1位～第5位 8点
- ・第9位 3点

(2) 令和4年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)松山地区予選

- ・第1位～第5位 8点
- ・第9位 3点

(3) 第1、2回松山地区中学生選抜大会(第1回・・・女子 第2回・・・男子)

- 【選抜の部出場権獲得者】 8点(中1の選抜の部出場権獲得者も含む)
- 【強化一部】・第1位 8点
- ・第2位 7点
- ・第3位 6点
- ・第5位 5点

(4) 第3回松山地区中学生選抜大会(第3回・・・女子 第4回・・・男子)

- 【強化一部】・第1位 6点
- ・第2位 5点
- ・第3位 4点
- ・第5位 3点

* 上記(1)～(4)の大会で獲得した点の内、最も高い点を個人の持ち点とし、チームごとに合計する。

2 出場チームの監督の投票結果を参考にする。

1, 2をもとに、専門部を中心とした顧問により、抽選方法を決定する。

<参考>(基本的な考え方です。新人大会の結果等により変更される可能性があります。)

- ・ 本大会の順位決定リーグ戦に進出した男女各8チームが、1月22日(日)愛媛県武道館で行われる愛媛県中学校選抜団体卓球大会(兼全国・四国選抜予選)への出場権を得るものとします。ただし、『中体連主催の愛媛県中学校新人体育大会(卓球の部)優勝の学校については、地区予選を免除し、愛媛県中学選抜卓球大会の第1シードとする。』との規定がありますので、これに該当することになった学校は松山地区団体対抗戦の予選リーグが免除となり、順位決定リーグからの出場となります。
- ・ 松山市のチームについては、順位決定リーグ戦及び決勝トーナメントに出場したチームの中で、順位の高いチーム順に、市総体の第3・第4シードを決定します。なお、第1・第2シードについては、松山市中学校新人体育大会(卓球の部)の1, 2位校になります。